

# 委員会での審査

6月13、14日に各常任委員会が開催され、付託した議案等を審査しました。  
(紙面の都合上、議案質疑とも一部を掲載)

## 総務

**非常勤の特別職の職員等の報酬及び費用弁償等に關する条例の一部を改正する条例の制定**

**問** 費用弁償が支給されるのは、消防団員だけになるのか。

**答** 日額費用弁償に限ると、市議会議員と農業委員会委員に支給していましたが、4月から議員は支給を廃止しており、7月から農業委員も廃止となると、日額費用弁償は全ての特別職について廃止になります。  
ただし、一般的な費用弁償のうち、議員をはじめと

する特別職について日当は廃止しましたが、従来の旅費としての費用弁償は支給されています。

**問** 消防団員の出勤にかかる費用弁償は、一般的な費用弁償と性格を異にするものとして、特に規定しているものですか。

**答** この改正による今年度の予算削減額は、100万円程度の削減になります。

**八街市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定**

**問** この罰則等に該当する具体例には、どのようなものがあるのか。

**答** ①職員が個人の秘密が記録されているデータベースを光ディスク等の記録媒体に複写して、不正に譲渡した場合。  
②職員が許可等に係る個人の氏名、住所、電話番号等の情報が記載された名簿を名簿業者に売却した場合。  
③職員が個人の興味を満たす目的で、自己の職務を装って他人の健康診断結果を入手する場合。  
④他人の身分証明書等の使用により、他人に成りすま

し、他人の情報の開示を受けること等。

**問** 職員には、この条例の周知徹底をどのように促して進めていくのか。

**答** 基本的には、広く情報を公開していく、一方では個人情報保護を確保していくということでは、非常に難しいところがあります。職員もどの程度まで情報を公開しているのか非常に苦労しており、情報公開にあたっては、担当課である総務課と相談をして、出来るものについては公開をしていく、出来ないものについては、公開しないことを徹底していこうと考えています。

今回の周知方法としては、改めてマニュアルなどを作成して条例の内容を周知をさせることで、個人情報保護の重要性を認識させたいと考えています。

## 教育民生

**八街市立八街中央中学校校舎改築に伴う建築工事、電気設備工事及び機械設備工事の請負契約の締結**

**問** 平成13年の二州小学校改築工事時の落札率99%に

## 常任委員会行政視察

教育民生・建設常任委員会は、5月12日に静岡県三島市の雨水浸透施設と市民生涯学習センターを視察しました。



雨水浸透施設は、雨水を地下に浸透させ地下水の保全や洪水防止に役立たせようと一般住宅の浸透マス設置者に対し、平成4年度から1戸あたり2基まで限度額を設け補助金を交付したり、不要になった浄化槽や簡易なタンクを利用し、雨水をためて雑用水に活用するための雨水貯留施設の設置者に対しても補助金を交付していました。また、水循環のしくみにおける森林が果たす役割に着目し、間伐により不要となった間伐材の丸太を2、3段階み上げ、洪水・崖崩れの防止、治山・治水の効果が期待できる「小さなダムづくり事業」を進めていました。

生涯学習センターは、生涯学習ゾーンと図書館ゾーンに分かれており、「子ども達エリア」の青少年相談室では、不登校児童がこの相談とわかることなく指導を受けられ、好評ということでした。現在、力を入れている事業は、「三島いきいきカレッジ」という市民講師による講座で、講師になりたい方を募集してから、この講座の受講生を募集して実施するもので、趣味的な講座は市民主導で行い、市ではスキルアップしたものを生涯学習に取り上げていく方向でした。

総務・経済環境常任委員会は、5月18日に長野県伊那市の『伊那西部土地改良』『地域イントラネット構築』、5月19日に同県岡谷市の『行政改革、行政評価』『テクノプラザおかや』について視察しました。

まず、伊那西部土地改良区連合に伺い、農業水利事業等によって豊かな土地に変えてきた伊那西部土地改良の経緯等について説明を受けました。

次に、地域イントラネット構築について説明を受け、行政・医療・教育・産業・防災などの様々な分野で活用される社会基盤として構築され、高速・常時接続・定額の地域情報提供手段として運用されていました。なお、行政事務統合グループウェア、図書館管理・検索、学校間ネットワーク活用、ライブカメラ、イントラネット情報提供等が、この地域イントラネットにより行われていました。岡谷市では行政改革、行政評価についての説明があり、職員の意識改革、事務事業執行の改革改善、重要性の低い事業の休廃止の3つを目的の重点において、行政評価システムを導入していました。

テクノプラザおかやは、平成14年6月7日に開館し、岡谷市及び周辺地域が培ってきた精密加工技術を最大限に活用し、「スマートデバイス」の世界的供給基地へと発展するための拠点施設として活用されていました。

